

# 工事写真報告書

工事番号 平成 30 年度

工事名 M 様 邸

工事箇所 屋根・外壁・その他 塗装工事一式

工事住所 北九州市 八幡西区 千代ヶ崎

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



玄関部

この部分の色分けで見積りをさせて  
頂いております。

---

---

---

---

---

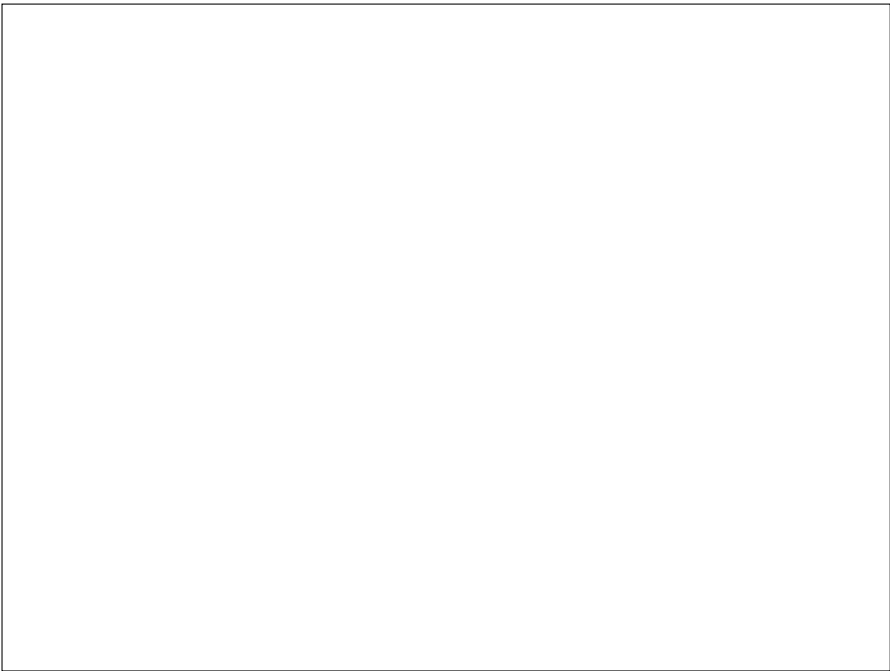
---

---

---

---

---



---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



屋根

この素材はセメント:アスベスト(又は<sup>°</sup>ル<sup>°</sup>纖維)が85:15で作られています。

表面の塗装が新築当時はアクリル塗装を焼き付けており、7年ぐらい経過すると表面の防水効果が低下し、だんだん反りや割れが生じてきます。



屋根

劣化し割れや反りがひどくなり葺き替えとなると、アスベストが入っている場合は特に処分費がかかりますので、早めの塗装と維持をお勧めをします。



屋根

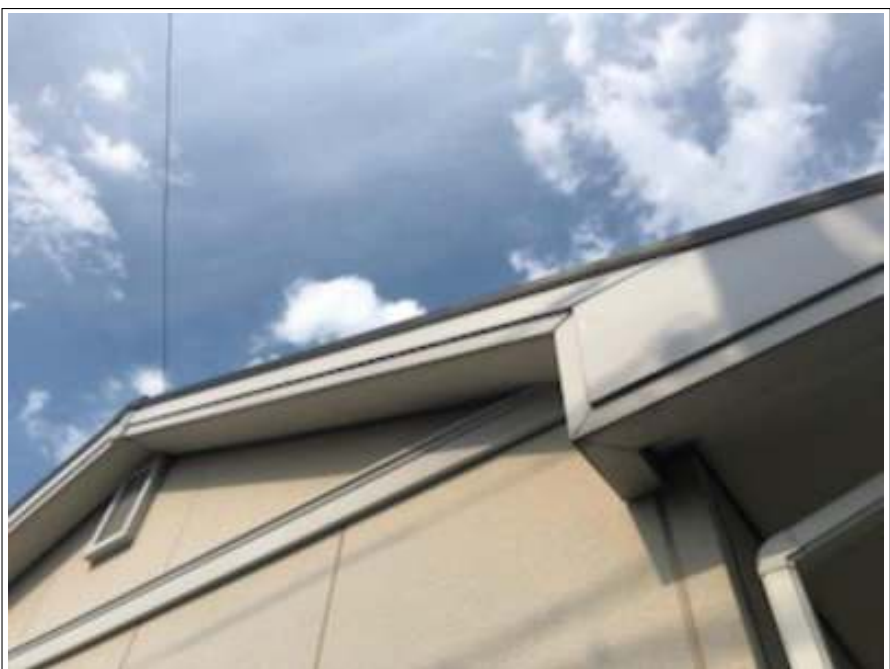
同上



軒天

経年劣化しております。

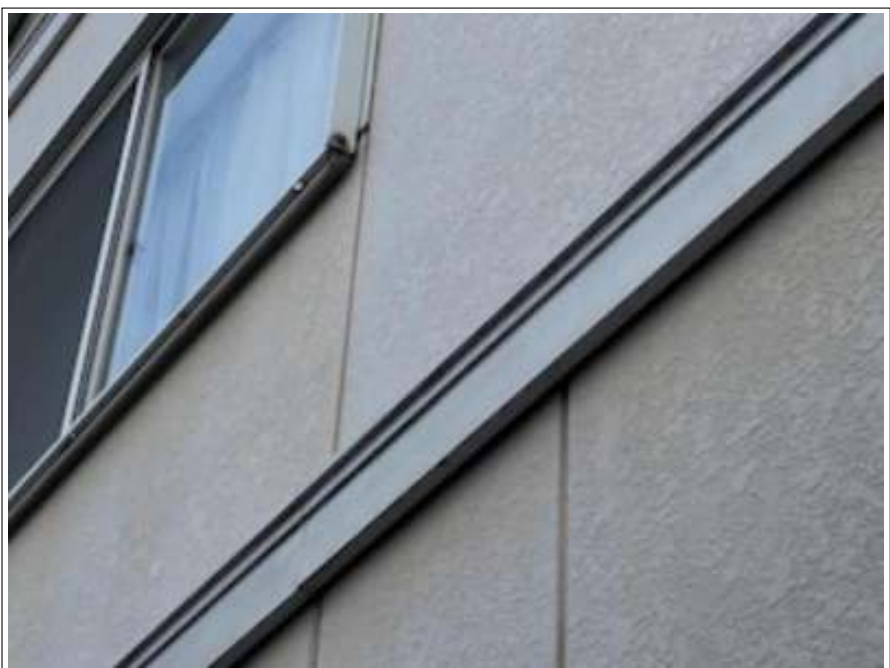
この部分は、通気性の良い軒天専用の塗装をしていきます。



破風板

経年劣化しています。

劣化すると腐食、お住まいの痛みにつながりますので、下塗り・上塗りをおこないます。



帯

同上

※ 鉄・スチール素材では無かったので、密着性の高い下塗をおこない、なるべく剥がれないような施工をおこないます。



樋

こちらは塩ビ素材になります。  
劣化すると割れが生じたりすることがありますので、塩ビ専用の下塗りをおこない塗装をしていきます。

---

---

---

---



ダクトカバー

同上

---

---

---

---

---

---



換気フード

同上

※鉄・スチール素材の場合は、以下の施工方法となります。

---

---

---

---



## 雨戸

この部分は鉄、スチール素材になります。

劣化するとサビが発生してきますので塗装が必要です。



## 玄関ドア

対処方法

サビの発生している部分にいくら塗装をかけてもすぐにサビが表面化してきますので、サビが発生している部分はケレン作業でサビを落とし、サビ止め下塗りを行い塗装をしていきます。



## 玄関ドア

同上



**基礎 クラック部**

アルカリ性のコンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合することによって徐々に中性化されます。

中性化されたコンクリートは表面にヒビが入るだけでなく、内部の鉄筋の腐食や膨張につながり構造物の性能低下につながりますので、シーリング等で補修をおこないます。



**基礎 クラック部**

0.3mm以上のキレツは補修が必要です。



**基礎 クラック部**

同上



基礎 クラック部

同上



基礎 クラック部

同上

※カビ等の発生が見られます。



塀

地面から水や湿気を吸いはき出す部分になり、この部分に耐久性の高い塗装や膜を張る塗装をおこなうと、膨れる恐れがありますので、通気性の良い塀の塗装をおこないます。



塀 \_\_\_\_\_

同上 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_



塀 \_\_\_\_\_

同上 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_



塀 \_\_\_\_\_

カビの発生が見られます。 \_\_\_\_\_

カビの上にくら良い塗装をして \_\_\_\_\_

も、カビの根が残っている以上塗膜 \_\_\_\_\_

を突き破って表面化してきますので、 \_\_\_\_\_

カビの根を抑える必要があります。 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_



### カビ発生部

#### 対処方法

いくら高圧洗浄をかけても、カビの根が残ってしまいますので、カビの根を殺す防カビ下塗りをおこない、下塗り・上塗り二回の三層四工程をおこないます。



### 外壁 欠損部

外壁の欠損などが見られます。この部分は可能な限り補修をおこない、塗装をしていきます。



### 同上



### チョーキング現象

紫外線などにより塗膜の表面が劣化し、チョークの粉状のような状態になっています。

この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をお勧めします。



### 定型シール目地

こちらは通常のゴムのようなシーリングではなく、パッキンのようなメーカーさんオリジナルの目地になります。



### 定型シール目地

この部分の補修方法は、

- ・出てきている部分を再度入れ込み、エポキシ系の下塗りをおこない密着力を高め塗装。
  - ・全て撤去し通常のゴム系のシーリングを注入（別途費用）
- の2つがあります。



外壁 シーリング劣化部

---

---

---

---

---

---

---

---



カビ発生部

カビの発生が見られます。  
カビの上にくら良い塗装をして  
も、カビの根が残っている以上塗膜  
を突き破って表面化してきますの  
で、カビの根を抑える必要がありま  
す。

---

---

作成者：戸高勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

---

---

---

---

---

---

---

